



15万人目の入館者 仙台市の山田齊さん一家

一関市博物館は、平成9年10月10日に開館してから、本年度10周年を迎えます。「地域の歴史・文化の解明と継承に尽くす博物館」「研究成果を蓄積し情報発信・提供する博物館」「すべての人々が交流・連携し活用する博物館」の三つを理念の柱として活動してきました。

常設展示は、「一関のあゆみ」「舞草刀と刀剣」「玄沢と蘭学」「文彦と言海」「関と和算」の5室で構成され、調査・研究・資料収集、企画展示のテーマはこれに「地域の美術工芸を加えて、地域の個性を研究・蓄積・発信してきました」。

18年度末までの9年半に、資料8699点を収集・保存し、企画展示42回、研究報告45編を開催・公表しました。また、講座・講演会・体験学習・映画会・見学会などは112回(年間複数回のものは1回と数え)開催し、講師として、当館学芸員のほか、全国から延べ66人の外部研究者を招きました。入館(展示見学)者は8月15日に15万人となりました。展示以外の講座などの参加者は延べ1万5000人のぼっています。

10周年を迎える今年度は、広域合併記念とあいまって、特別展「大槻玄沢生誕250年 GENTAKU―近代科学の扉を開いた人―」をはじめ、企画展3本を含む多種多様な企画を開催します。博物館は、これからも広範な皆さんと連携し、地域・市民の博物館として、充実した活動に取り組みしていきます。

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
次回10月1日号の締め切りは9月10日(月)です。
詳しくは、本庁秘書広報課広聴広報係 ☎21-8182へ。

市民ミュージカル上演せまる

カスリン・アイオン台風60年事業として、市民ミュージカル「今伝えよう一関の年輪」を上演します。一関の歴史を振り返り、アイオン台風の被害の実話から生きる大切さを学び、市の繁栄を願って未来に羽ばたく勇気と未来をうたい上げます。

- ◆日時…9月16日(日)14:00開演
- ◆会場…一関文化センター大ホール
- ◆入場料…大人前売り1000円ほか
- ◆チケット取り扱い所…一関文化センター、東山音楽振興会、コスモス舞踊研究所、(株)一関プリント社
- ◎問い合わせ先…一関文化会議所 ☎32-4333

地場産品の調理コンテストを実施

地産地消の拡大と、食育の浸透に寄与するためのコンテストを行います。

- ◆応募要領…①曲がりねぎ、ごぼっ葉、エゴマ(じゅうね)、自然薯、椎茸、古代米、もち米、たかきび粉、もくずがに、矢越かぶ、唐竹を一品以上使用した創作レシピ。ただし伝統料理のリバイバルは可。子ども部門は食材にこだわらない。そのほかの食材および調味料は天然由来の素材使用が原則。一品目材料費2000円以内、所要時間2時間以内②一品目4~5人分で、一人2品目まで応募可③レシピはA4縦に横書き、仕上がり写真を添付④氏名、学年、年代(10歳刻み)を必ず記載
- ◆受付期限…10月10日(水)
- ◆審査…一次審査(書類審査、10月末)、二次審査(実技・11月17日(土))
- ◆表彰…子ども、大人の部門別に実施
- ◎問い合わせ先…スローフード一関(世嬢の一酒造内) ☎21-1144

いわいの里yosakoiフェスタin一関

『次世代を担う人材の育成、人々が集える交流の提供』として県内外からよさこいグループ30団体が集まります。大町通り商店街を舞台に、観客と踊り子で盛り上げる躍動的な「よさこい」が繰り広げられます。

- ◆日時…10月21日(日)11:00~15:30
- ◆会場…一関大町商店街
- ◎問い合わせ先…一関夢限大 佐藤 ☎090-5843-7618

動物愛護フェスティバル

- ◆日時…9月23日(日)13:00~14:30
- ◆会場…一関サティ北正面入り口
- ◆内容…子犬の里親探し(希望者多数の場合は抽選)、動物健康相談コーナー、動物クイズゲーム、動物写真コンテスト表彰、動物何でも相談
- ※当日会場へのペットの持ち込みは遠慮ください。
- ◎問い合わせ先…県南広域振興局一関総合支局保健福祉環境部 ☎26-1415

小学生の楽しい日舞

小学生を対象に、「なでしこ舞踊教室」として日本舞踊の基礎を学びます。着物や小物は用意しています。発表の場も設ける予定です。

- 伝説文化こども教室事業として、文化庁から委嘱を受けた(株)伝統文化活性化国民協会の助成事業として行うものです。
- ◆開講日…初回は10月13日(土)10:00~12:00、20年3月まで全20回
- ◆会場…山目公民館和室
- ◆受付期限…9月30日(日)
- ◎問い合わせ先…若泉流事務局 佐藤 ☎26-4710

骨髄バンクに関するシンポジウム

「骨髄バンクを支援する南岩手の会」10周年を記念して行います。入場無料。

- ◆日時…9月2日(日)13:00
- ◆会場…一関文化センター大ホール
- ◆内容…①10周年記念式典②(株)骨髄移植推進財団大久保英彦氏による講演「骨髄バンクの歩みと現状」③パネルディスカッション「骨髄移植の体験」④カルテット「フィーズ」による弦楽四重奏コンサート
- ◎問い合わせ先…骨髄バンクを支援する南岩手の会 小野寺 ☎26-4850

「終わりよければすべてよし」を上映

すべての人間にとって避けることのできない「死」に正面から向き合い、人間の尊厳を大切にした終末期ケアについてのドキュメンタリー映画を上映します。上映に先立ち、羽田澄子監督を迎えての講演も予定しています。

- ◆日時…9月19日(水)①13:30②18:30(2回上映)
- ◆会場…一関文化センター中ホール
- ◆鑑賞券…1000円
- ◎問い合わせ先…一関福祉を考える会 小野寺 ☎090-2271-1509

日中友好のための市民講座

開講期間は9月から12月で、会場はいずれも一関文化センターです。

- 【太極拳講習会】
- ◆開講日…毎週火曜18:30~20:00
- 【中国語講座】
- ◆開講日…第1・2・3金曜15:30~17:00
- 【悠久5000年中国の歴史講座】
- ◆開講日…第4金曜18:30~20:00
- ◎問い合わせ先…日本中国友好協会一関支部 島貴 ☎25-4167

今年の稲の生育は良いようです。なんとこのまま、台風被害に遭わずに順調に育つてくれればと思います。

散歩の時に感じるのは、カエルが水に飛び込む音や、虫の音が少なくなったような気がする事です。ツバメが5、6羽、並んで留まっています。2羽は親鳥残り、子どももいます。無事育っている様子です。虫も住めない、鳥も住めない地域では、人も住めないでしょう。それで、鳥が無事に育っている様子を見て、心が和み、やさしい気持ちになりました。

人間の子どものちもどんどん育っています。

先日、高校生チャレンジフェスタに行ってきました。スタッフも、出店者も、参加者も昨年より多く、また、好天に恵まれました。鹿踊り、よさこいなど高校生による演技があり、若者の元気を頼もしく感じました。とてもよいイベントでした。若い人たちが地域づくり頑張ることができ、環境整備に努めなければ、と強く感じました。

活躍する高校生の姿を通して、一関の元気な未来が見えるような気がしました。こういう元気な若い人たちがどんどん出てくれば、一関の将来は大丈夫でしょう。とてもさわやかな1日でした。



市長 浅井 卓也 氏

ふなの雫

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp

*講座などの申し込みは、電話で先着順

- 21世紀に語る大槻玄沢シンポジウム
 - 日時：10月14日(日)13時~16時
 - 10分/会場：一関文化センター中ホール
 - パネリスト：塚本学園立歴史民俗博物館名誉教授ほか
 - 史跡めぐり
 - 大槻館跡、祥雲寺などゆかりの場所をバスで巡ります。
 - 日時：9月30日(日)9時~15時
 - 30分/定員：25人
 - 参加料：無料(昼食は各自)
 - はくぶつかん土曜くらぶ
 - 江戸時代のマジックボックスのぞきめがねを作ります。
 - 日時：9月29日(土)13時30分~16時
 - 材料費：200円
 - 対象：小学生(保護者同伴)
 - 定員：25人
 - いわたの博物館交流セミナー「ザシキワラシとは何か」
 - 日時：10月6日(土)13時30分~15時30分
 - 講師：前川さおり(遠野市立博物館学芸員)
 - 定員：50人
- 今年は大槻玄沢が生まれて250年、また没後180年の節目の年。蘭学を通して日本の近代科学の礎となった玄沢の偉大な業績を、貴重な資料を一堂に集めて紹介します。
- 会期：9月22日(土)~11月7日(水)
- 【関連行事】